

経営比較分析表（令和4年度決算）

岡山県真庭市 真庭市国民健康保険湯原温泉病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	18	-	ド訓	救臨へ輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
42,586	9,830	第1種該当	第1種該当	10:1

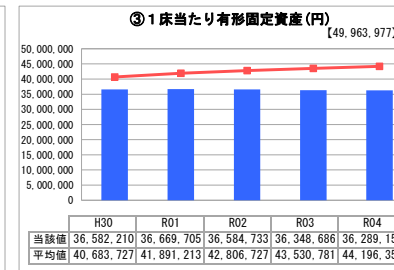
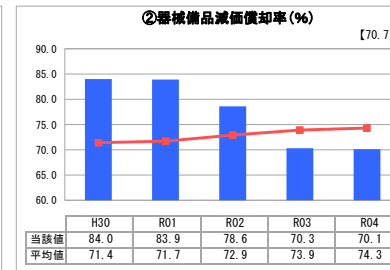
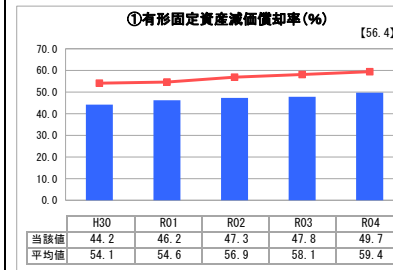
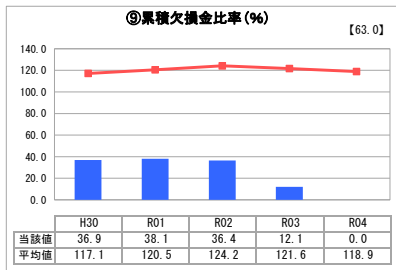
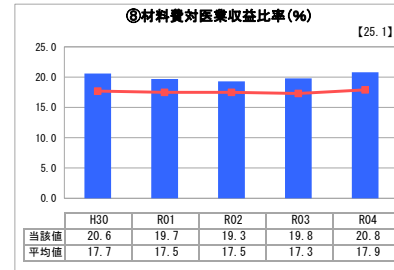
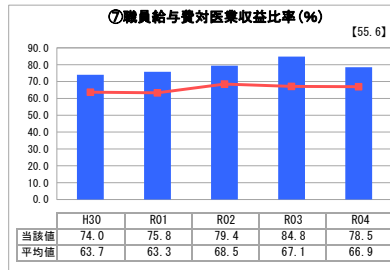
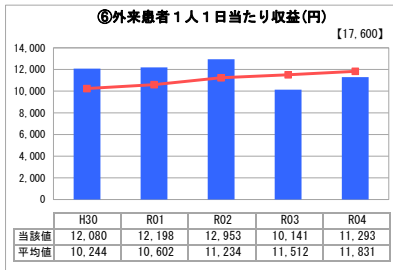
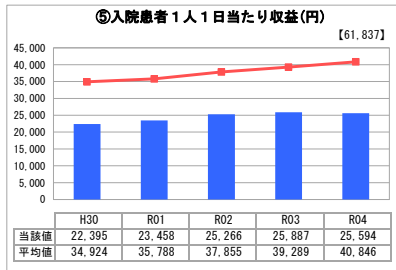
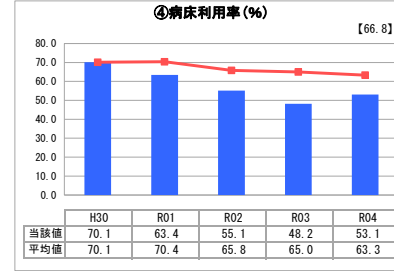
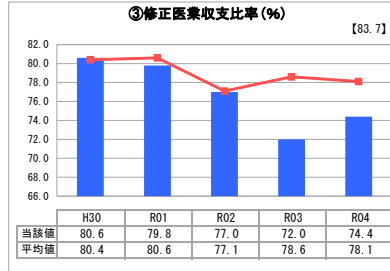
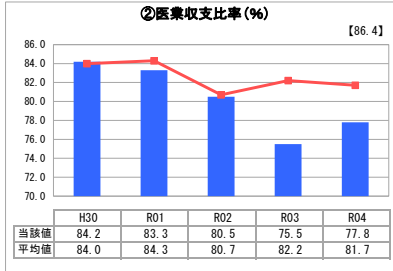
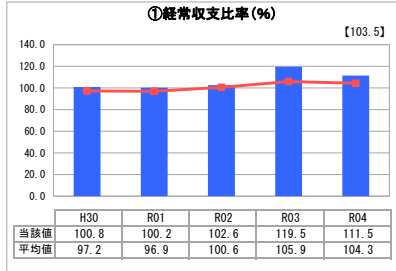
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
50	55	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	105
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
49	32	81

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
-	類似病院平均値（平均値）
[]	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）		
継続分化・連携強化 (従来の可搬・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度
-	-	-

I 地域において担っている役割

本院は地域医療構想において、へき地医療拠点病院に位置付けられており、市北部唯一の病院として二次救急医療を提供している。患者層の多くは高齢者であり、在宅を意図した診療体制として、訪問看護や通所・訪問リハビリテーションを提供するなど、地域包括ケアシステム構築の一翼を担っている。
また、公立病院として、県北の基幹病院との相互連携や機能分担を推進する役割も求められている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

新型コロナウイルス感染症の感染縮小に伴い、受診控えが解消され、入院・外来患者数（新型コロナウイルスワクチン接種を除く）が増加し、医業収益が増加となった。一方、新型コロナウイルス関係補助金の縮小・削減により、医業外収益は減収となった。「①経常収支比率」は類似団体平均を下回る結果となった。また、「②医業収支比率」、「③修正医業収支比率」、「④病床利用率」は、昨年度より改善されたものの類似団体平均を下回る結果となった。また、「⑤入院患者1人1日当たり収益」、「⑥外来患者1人1日当たり収益」は手術件数及び重症患者が少ないため、類似団体平均を下回った。「⑧材料費対医業収益比率」は、類似団体平均を上回っており薬品、医療材料の選定や調達方法について検討の余地がある。

2. 老朽化の状況について

「①有形固定資産減価償却率」は、類似団体平均を下回っているが、確実に老朽化が進むため計画的な施設の改修等を検討する必要がある。「②器械備品減価償却率」は、近年、法定耐用年数を経過した高額の医療器械等を更新したこともあり、類似団体平均を下回る結果となった。今後医療機器については使用頻度等を考慮し更新していく必要がある。「③1床当たり有形固定資産」は、類似団体平均を下回っているが、今後、病床数削減を行う場合、指標が上昇するため過剰投資とならないよう計画的な固定資産の取得、除却が必要である。

全体総括

過疎地域の人口減少の加速、医療需要の減少が進む中、医療圏域からの患者流出対策として広域連携の強化や地域のニーズに合った病院への機能転換を検討するなど、へき地地域における増患対策が至上命題である。
独立採算の原則を堅持しつつ、新興感染症への対応、へき地地域の救急医療の確保や医療水準の向上を図るといった、公立病院の責務としての医療を提供していくために、「公立病院経営強化ガイドライン」に基づき「湯原温泉病院経営強化プラン」を策定した。本プランを効果的に推進し、確実に実行するため、定期的に実施状況の点検、評価をしながら持続可能な病院事業の推進を図る。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。